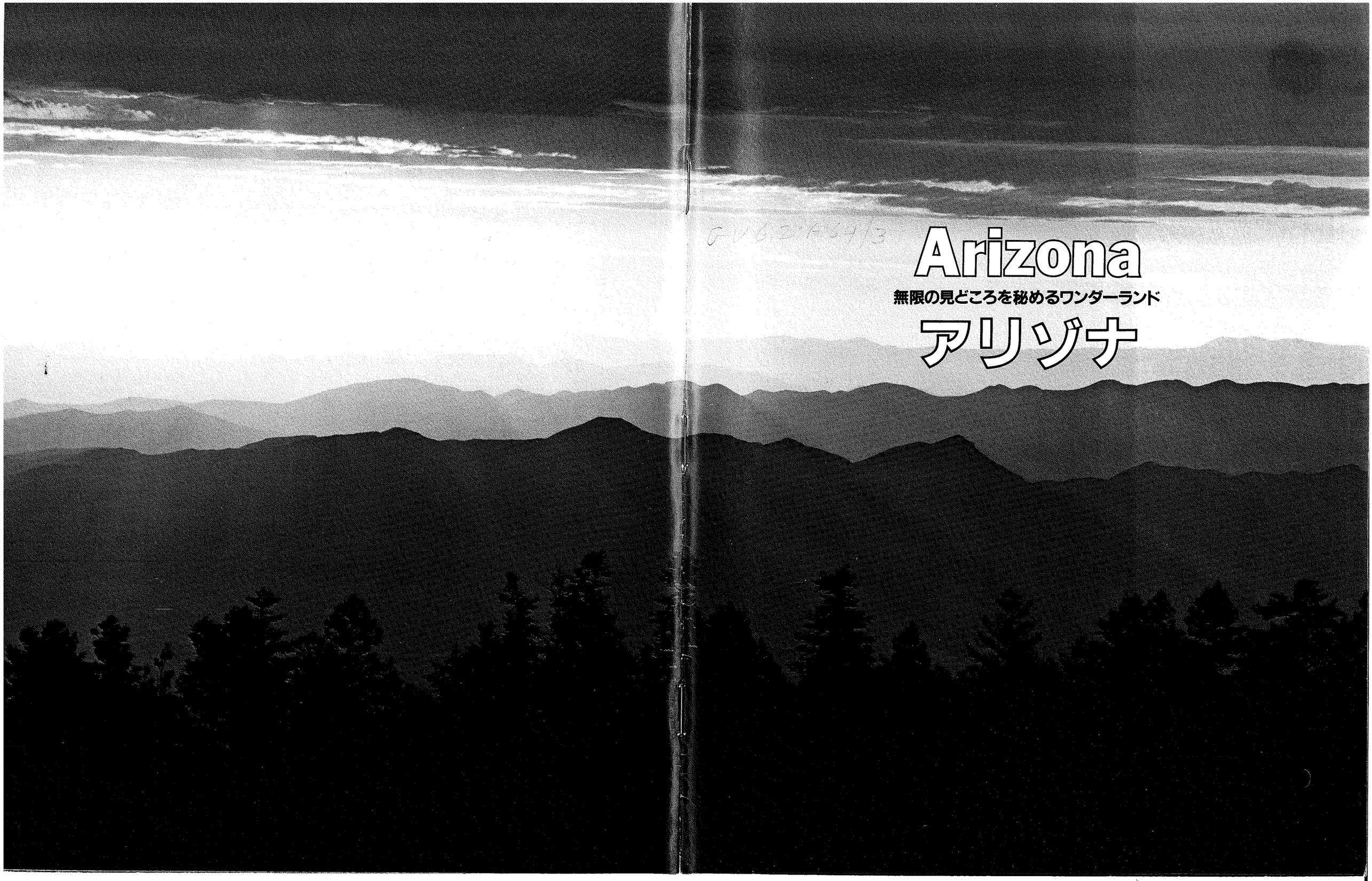
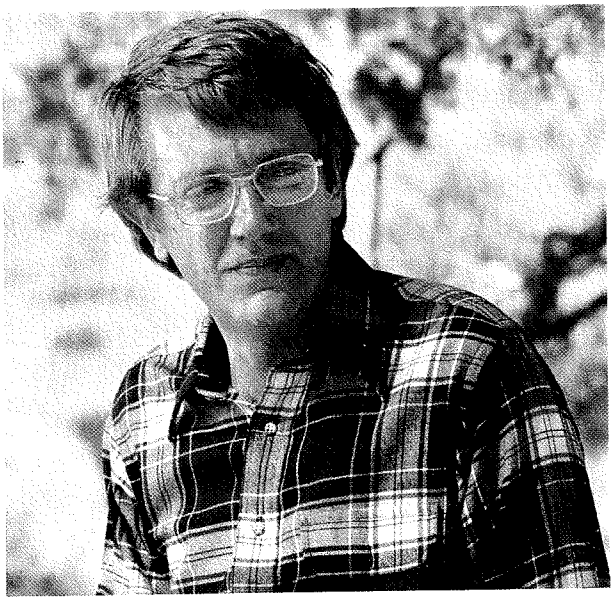


Arizona

無限の見どころを秘めるワンダーランド

アリゾナ

グランド・キャニオンを濶歩する
アリゾナ州知事ブルース・バビットが自信をもっておすすめする
アリゾナならではのすばらしいバケーション・スポット。



ごあいさつ

私たちアリゾナ州民は、アリゾナ州のすばらしさに大きな誇りを持っています。そして、その美しい景色、楽しいスポーツ、ゆたかな文化、陽光に恵まれた気候を、みなさま方とともにわかち合いたいと思っています。

アリゾナのライフ・スタイルは、伝統的な旧西部と進歩的な新西部の両方の魅力を兼備しており、心躍るユニークな楽しさに満ちあふれています。

米国広しといえども、アリゾナほど、たっぷりとした時間とゆったりとした空間に恵まれ、ゆとりをもって暮せるところは他にありません。グランド・キャニオンの奥地に立ち入り、深山幽谷で体力の限界に挑むにせよ、モゴヨン・リムの樹海をさまよい自然美を賞するにせよ、また砂漠の中の湖に遊ぶにせよ、アリゾナの大自然のふところに抱かれて、浩然の気を養えば、この世の憂さもしばし忘却したり、轄然として人生の光明を見出すことにもなりましょう。

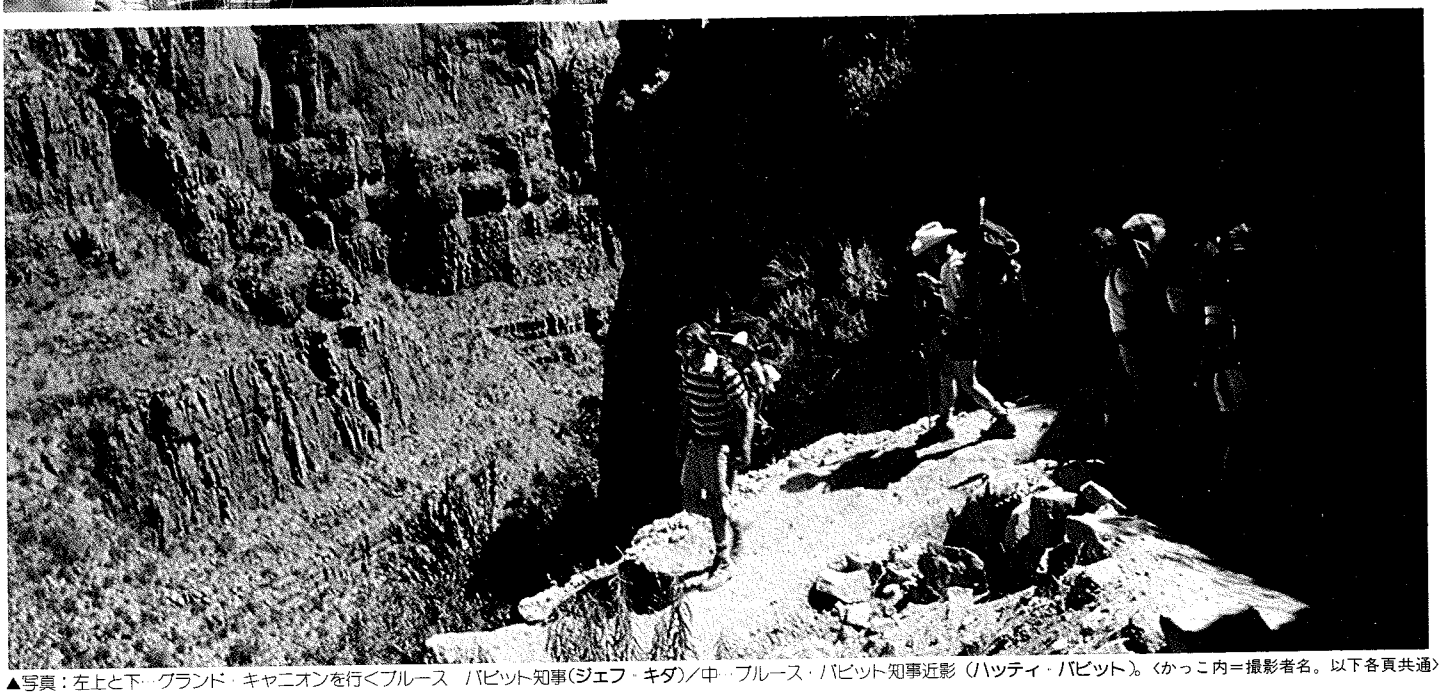
“ライフ・スタイル”という言葉には、いろいろな意味が含まれますが、最近ではますますシンプル・ライフへの指向が高まり、自然への復帰が主調になりつつあります。つまり、私たちをとりまく自然環境と調和して快適に生きることです。みなさまがアリゾナを訪れてバカンスをおすごしになる際、私たちがみなさまに望むあるべき姿も、とりも直さず、それにつきます。もっとも、アリゾナでは自然にそういう風に振舞うことになり、またそうすることによって、本書にご紹介したアリゾナの数多いアトラクションの楽しさがいっそう豊かになります。

ぜひ、アリゾナにおいでになり、その魅力を少しでも自分のものとしてください。私たちも、みなさまの休日が文字通りハッピー・ホリデーとなるようにサービスの万全を期するつもりです。

敬　具

Bruce Babbitt

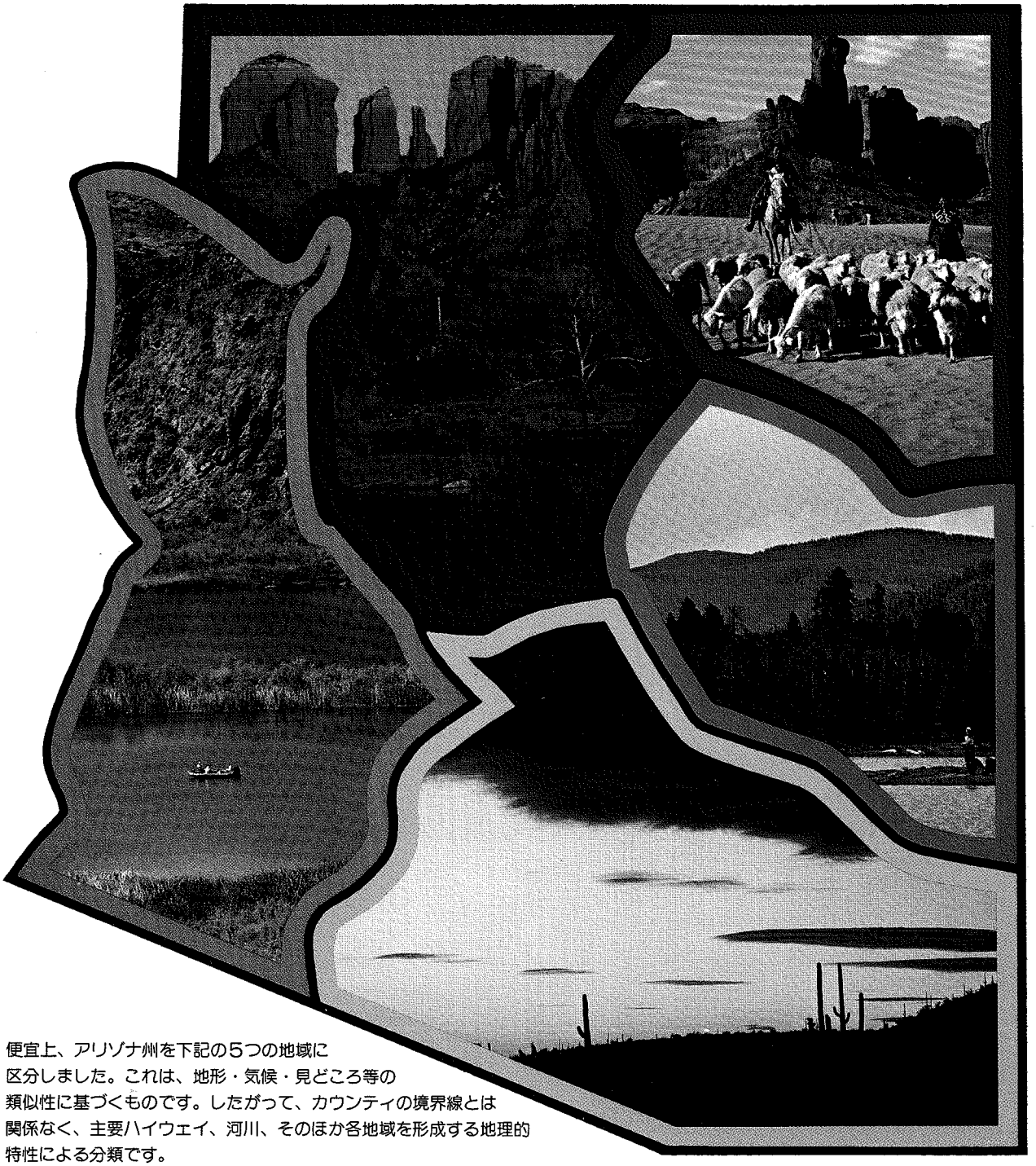
ブルース・バビット（Bruce Babbitt）
アリゾナ州知事



▲写真：左上と下・グランド・キャニオンを行くブルース・バビット知事（ジェフ・キダ）／中・ブルース・バビット知事近影（ハッティ・バビット）。〈かっこ内＝撮影者名。以下各頁共通〉

G162 A4/3

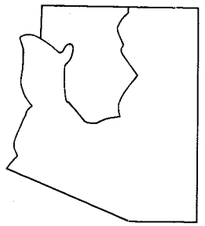
みなさまを招くアリゾナの5大地域：
“そのすべてをご覧ください！”



便宜上、アリゾナ州を下記の5つの地域に
区分しました。これは、地形・気候・見どころ等の
類似性に基づくものです。したがって、カウンティの境界線とは
関係なく、主要ハイウェイ、河川、そのほか各地域を形成する地理的
特性による分類です。

ノースランド/キャニオン・カントリー★インディアン・カントリー★マウンテン・カントリー
デザート・サン/ボーダー・カントリー★コロラド・リバー/ジェム・カントリー

▲写真（左上から右回りの順）：オーク・クリーク峡谷（ニック・ニコルソン）／インディアンの遊牧風景（ボブ・ブラッドショー）／山中の湖（ギル・ケニー）／砂漠の夕景色（レイ・マンレー）／コロラド川（ピーター・クレサン）。

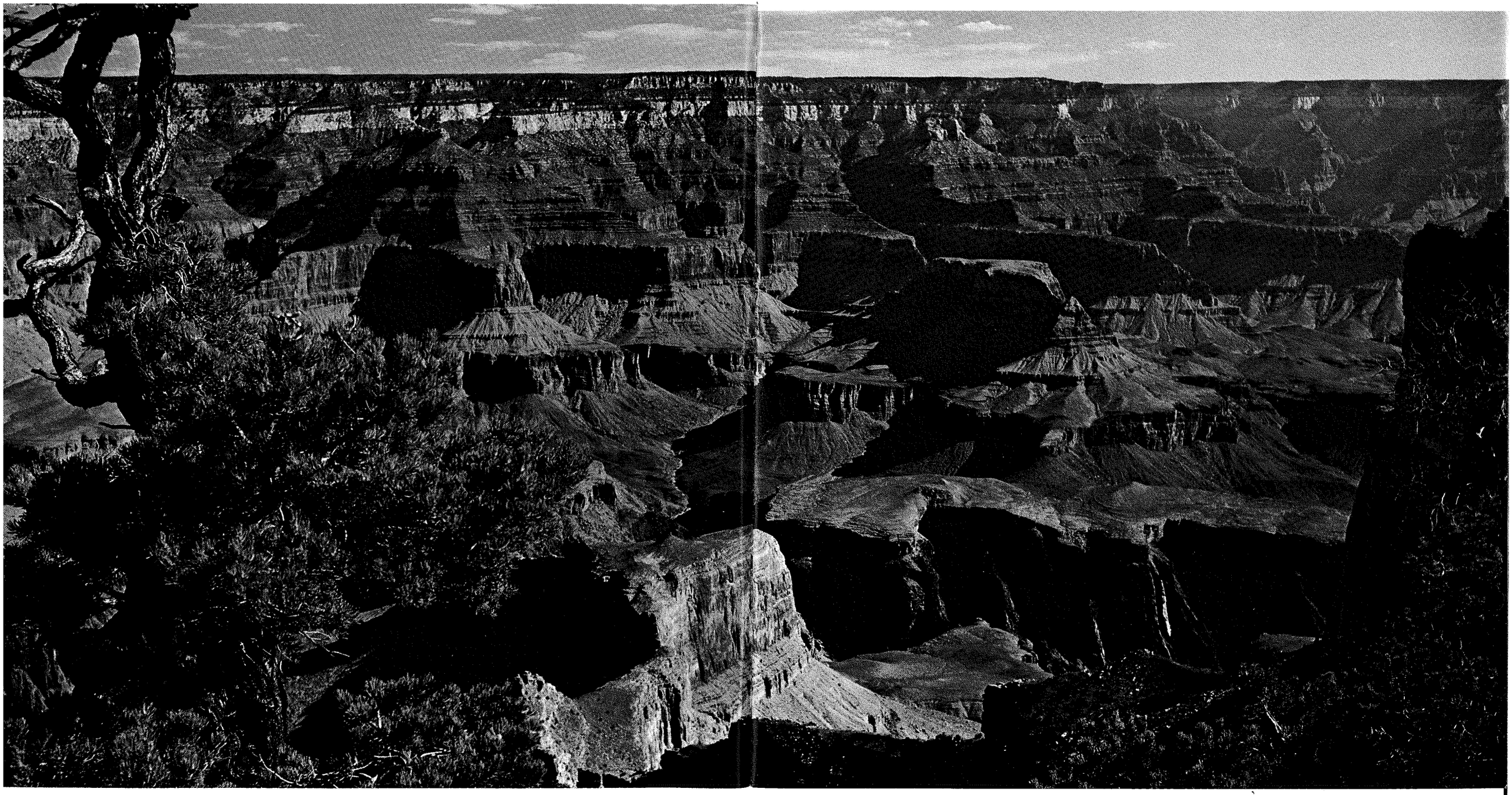


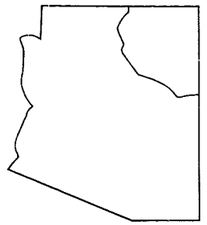
ノースランド/キャニオン・カントリー…雄渾無比のスケールで想像を絶する大峡谷地帯!全米最大のポンデローサ松林にそびえるアリゾナの最高峰。映画のイメージをはるかに凌駕する大自然が驚異のスペクタクルをくりひろげます。

深さ1マイル(1.6km)に達するグランド・キャニオンに朝日が昇るとき、〝新世界〟が誕生します。時間の経過にともなって、光と影があやなす微妙な色彩のシンフォニーは、筆舌に尽くせない美しさです。大峡谷の岩壁は、刻々と移り変わる雄大・華麗なスペクタクルを展開します。これぞ、まさしく世界七大不思議の一つです。徒歩で、またはラバの背にゆられながら、あるいはボートや飛行機に乗って、グランド・キャニオンを眺めれば眺めるほど、神秘的な大自然の驚異に魅了されます。しかも、季節がかわるにつれ、まるで魔法使いの杖でも用いたかのように、新たなすばらしいスケールの景観を呈します。

亭々とおい茂るポンデローサ松の林が、大峡谷の崖縁から南に広がり、海抜12,000フィート(約4,000m)のサンフランシスコ・ピークスにまで及んでいます。なお、この山頂には、ホピ族およびナバホ族インディアンの神々が住んでいるといわれています。この地域には、草を喰む何千頭もの鹿がおり、閑静な高原や湖水の美しさと相まって、リリカルなムードをかもしだしています。さらに南へ行くと、赤色岩のオーク・クリーク峡谷に至ります。ここは、アリゾナ屈指の景勝地であり、数々の名作西部劇のロケーションが行われたところです。

▼写真:グランド・キャニオンの朝の景色(ジョセフ・メンチ)。





インディアン・カントリー…伝統的なインディアン家屋の上におおいかぶさる巨大な岩層地帯。そそり立つ峡谷の絶壁をえぐって造営された断崖住居の壮観。由緒あるインディアンの儀式にまつわるダンスも見物できます。

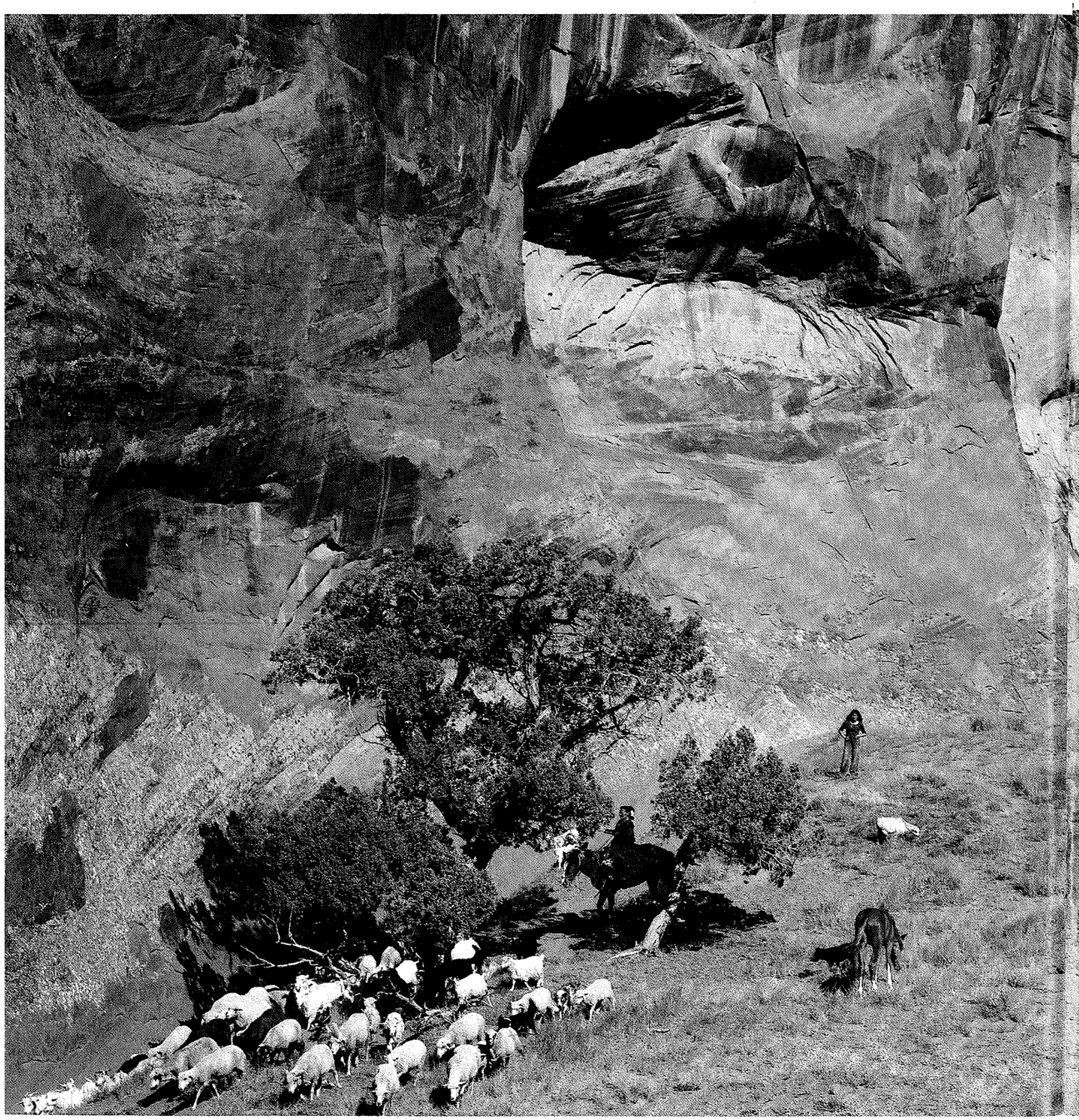
ここは正真正銘のインディアン・カントリーであり、みなさまの想像以上の魅力とロマンが秘められています。

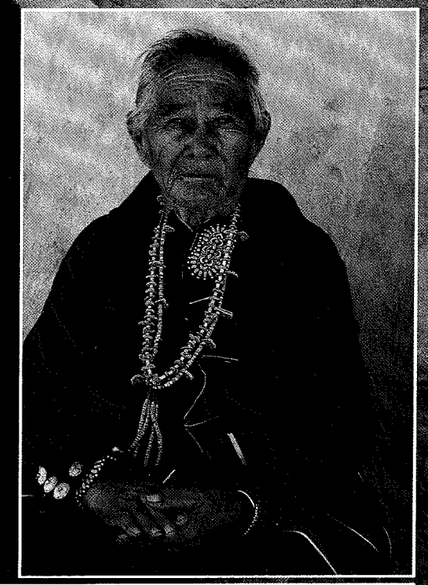
巨大なモノリス(一枚岩)や城を思わせるビュート(孤立した山)が赤褐色を帯びた大平原に、碧空を背景にしてそそり立っています。荒涼としたモニュメント・バレーを、おとなしい羊の群れや、馬にまたがった羊飼いの孤影がよぎります。ここは、悠久の時間が果てしない虚空に流れる別天地の観があります。

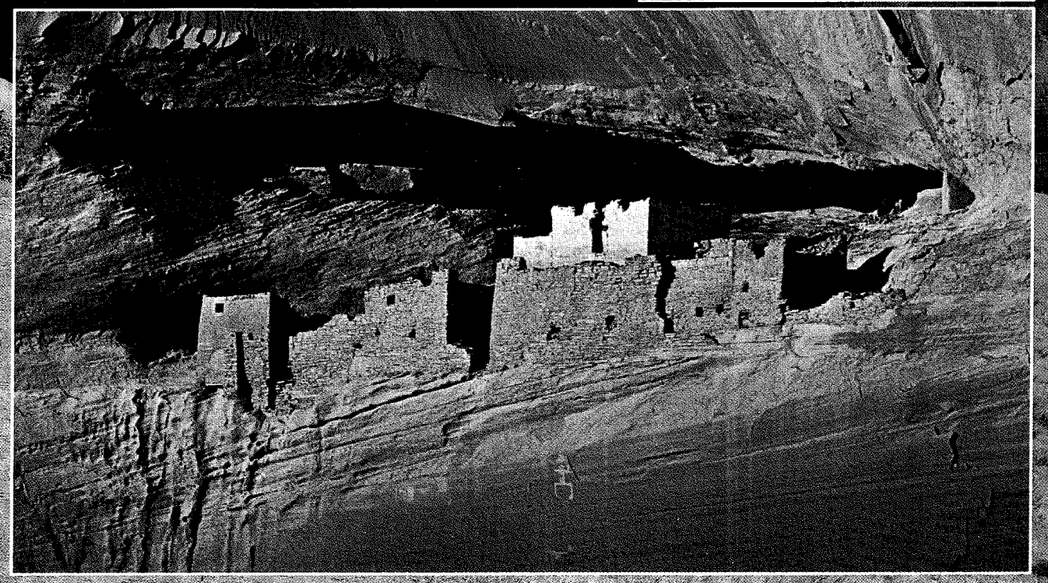
丸太と土で造られたナバホ族インディアンの家屋(ホーガン)が、そびえ立つアーチ状巨岩の近くに、うずくまるように散在しています。南下すると、ホピ族インディアンのもっと堂々とした石とアドービ(日干しの粘土製れんが)造りの部落が、高いメサ(平頂山)上に築かれています。さらに、峡谷の側壁のくぼみには先史時代の断崖住居が残されていますが、いったいインディアンたちはどのようにして、ここにのぼったのか不思議な気がします。もっと近寄りやすい下層の住居では、往時のインディアンたちの生活ぶりをしのぶことができます。

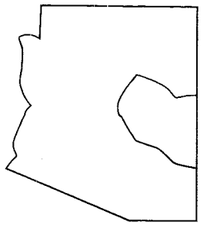
また、あまり遠く離れていないところで、インディアンの伝統的な儀式を見物することもできます。ここを訪れると、月光のなかで踊る伝説的な亡霊に出合うかもしれません。

▼写真：モニュメント・バレーに見られるナバホ族インディアンの生活風景（レイ・マンレー）／上…インディアン老婦（ジョン・ランニング）／下…キャニオン・デ シェイのホワイト・ハウス遺跡（アービッド・メンチ）。







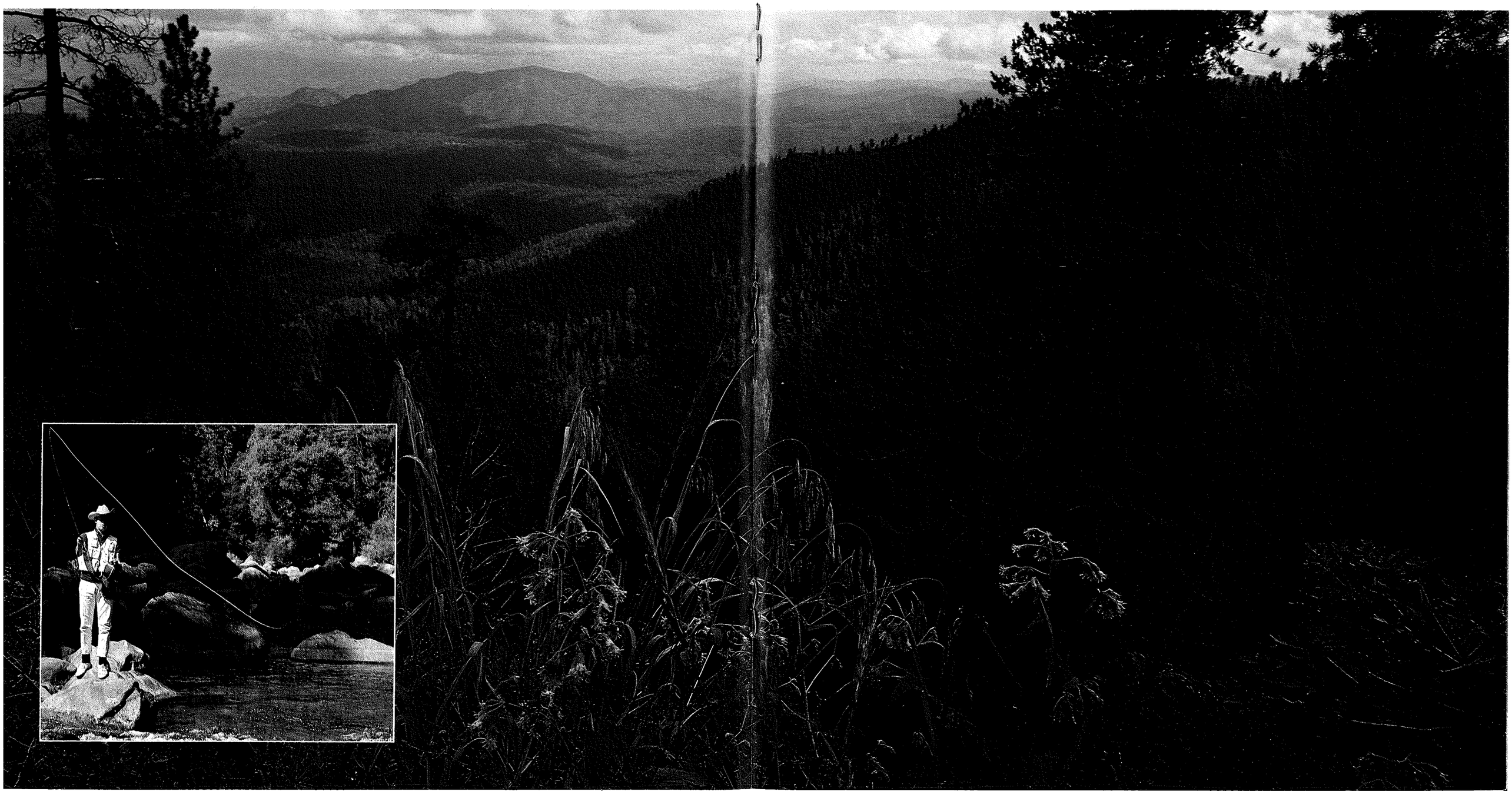


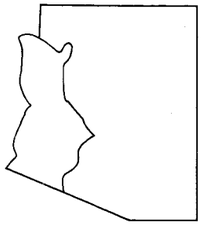
マウンテン・カントリー…かつてはスペインの征服者たちや辺境の猟師たちが辿った荒野のトレイルを踏破し、森林と草原を通り抜けて、けわしいモゴヨン・リムに接近できます。

アリゾナ中部のモゴヨン・リムには、多くの禽獣が生息する高原地帯があり、その周辺には、香りのよい松や、光と風を受けて葉をそよがせるアメリカヤマナラシ(アスペン)がおい茂っています。この地域は、かつて伝説的なシボーラの7つの都市の黄金を求めてやって来たスペインの征服者たち(コンキスタドーレス)が、この地のすばらしい財宝に気がつかぬまま通り過ぎたところです。そのうち、独立独歩の屈強な山男たちが踏破し、山波に埋もれた数々の魅力を発見しました。

今日でも、みなさまはこの地域の自然の恩恵に浴することができます。かつて開拓者たちが辿ったコースを進み、鹿や七面鳥が棲む森林を抜けると、広大なパノラマが眼前に展開します。陽光に照り映える湖水や、山間の渓流で鱒釣りを楽しむのも一興でしょう。また、野外に遊び英気を養ったり、数々のスリルにみちた西部劇を書いたゼイン・グレイの物語を生んだ歴史的な舞台を訪ねるのもよいでしょう。さらに、アパッチの国に足を伸ばし、彼等の興味深い儀式を見物することもできます。

▼写真：モゴヨン・リム（テーピッド・メンチ）／はめこみ・ブラック川の釣師（ボブ・ホイットティカー）。





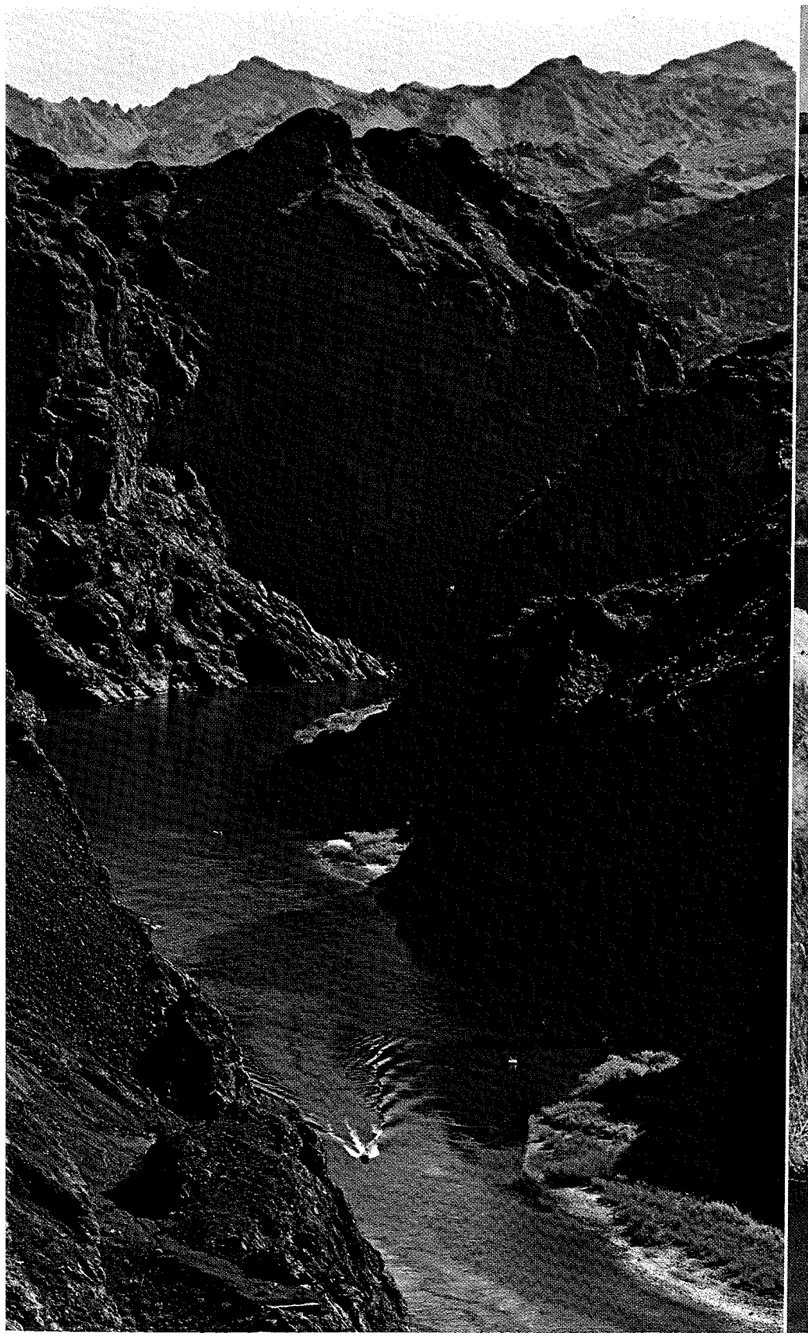
コロラド・リバー/ジェム・カントリー…もっぱらウォータースポーツ・センターとなっている巨大なダム地域。昔の鉱山や開拓時代のゴーストタウン近辺に、宝石がきらきら輝き、蜃気楼が超現実的な山岳シーンを映し出します。

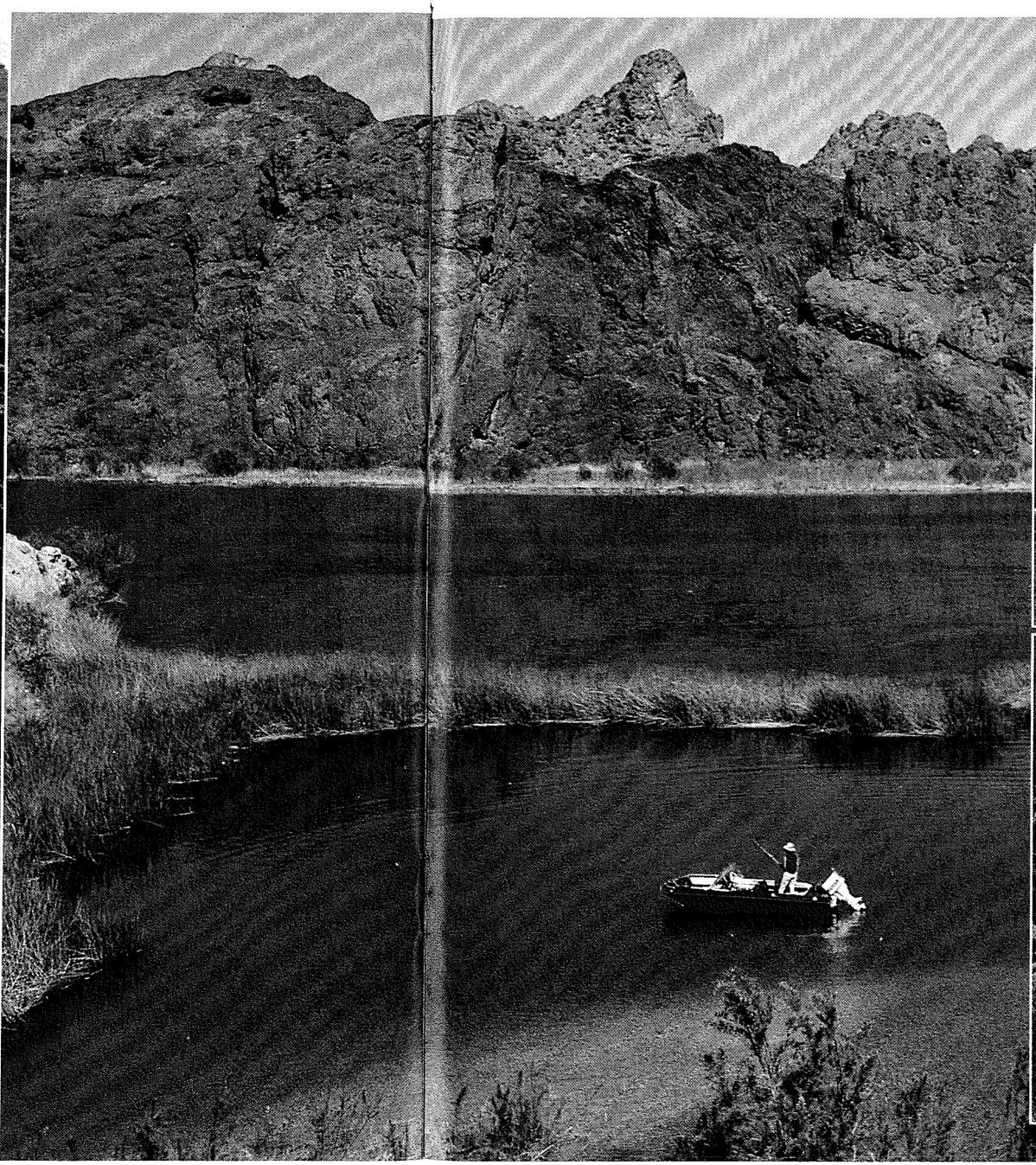
コロラド川は、フーバー・ダムから南のメキシコ国境にいたるアリゾナの長い西境を形成しています。その清流が、周辺各地の湖をうるおし、魚類の宝庫となっています。水面を掠めるボートや水上スキーヤーたちの姿もよく見受けられます。施設のととのったマリーナもあり、ウォーター・スポーツを楽しむのには、うってつけです。何マイルにも及ぶ緑陰に恵まれた川岸に沿って、ピクニックやキャンプ生活を楽しむ人々がそれぞれベースを設けています。

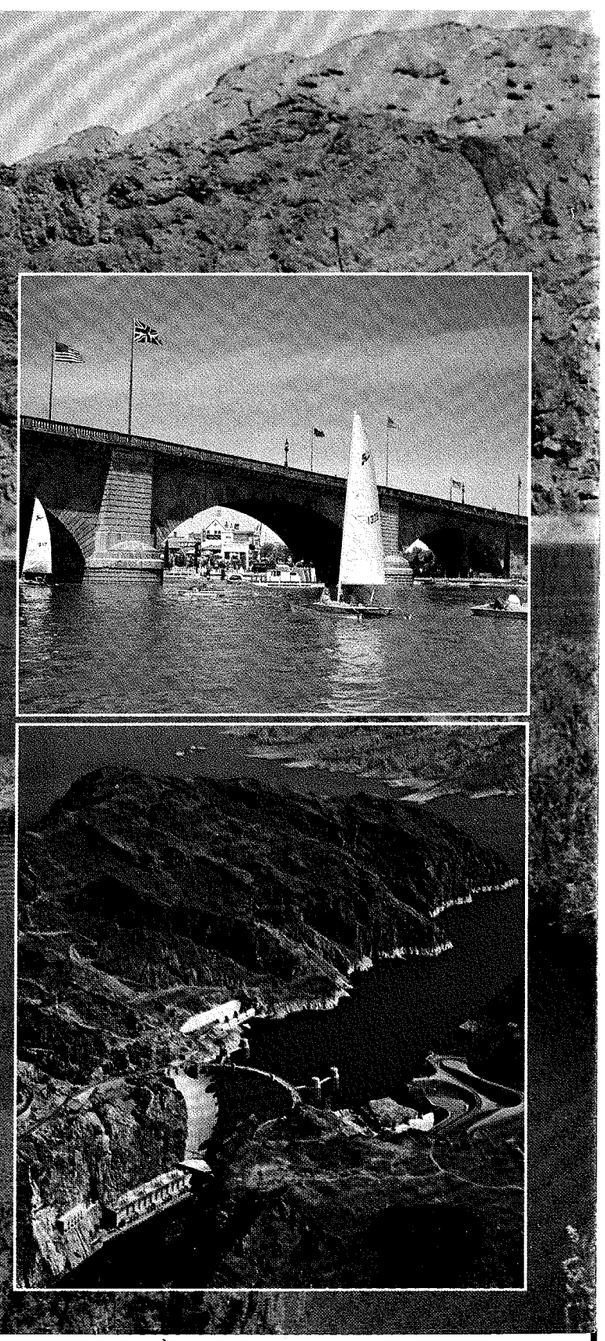
高峰が鋸の歯のように連なる山岳地帯には、有名な金鉱が散在しており、マウンテン・シープ(野生の羊)が谷間を渡る姿も目撃できます。また、かつては活気を呈した鉱山キャンプの残骸が風にはためき、わびしい物音をたてています。そして、見渡すかぎり広大な風景に蜃気楼が現われ、はるかかなたの尾根が陽炎のなかにゆらぎ、変幻するファンタジックな白中夢を見ることもあるでしょう。

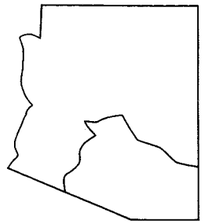
いろいろな宝石が発見されるこのコロラド川の溪谷地帯は、地質学者や鉱石収集家にとって見のがせないところです。なお、この地方の代表的な名所の一つに、地下21階からなる石灰石の洞窟があり、神秘的な異彩を放っています。

▼写真：左…ブラック峡谷とコロラド川（テービッド・メンチ）／右…トポック溪谷、ハバス国定野生動物保護区域（ボブ・ホイットティカー）／上…レイク・ハバス市のロンドン橋／下…フーバー・ダムとミード湖（ランティス・エアリアル・サーベイズ社）。

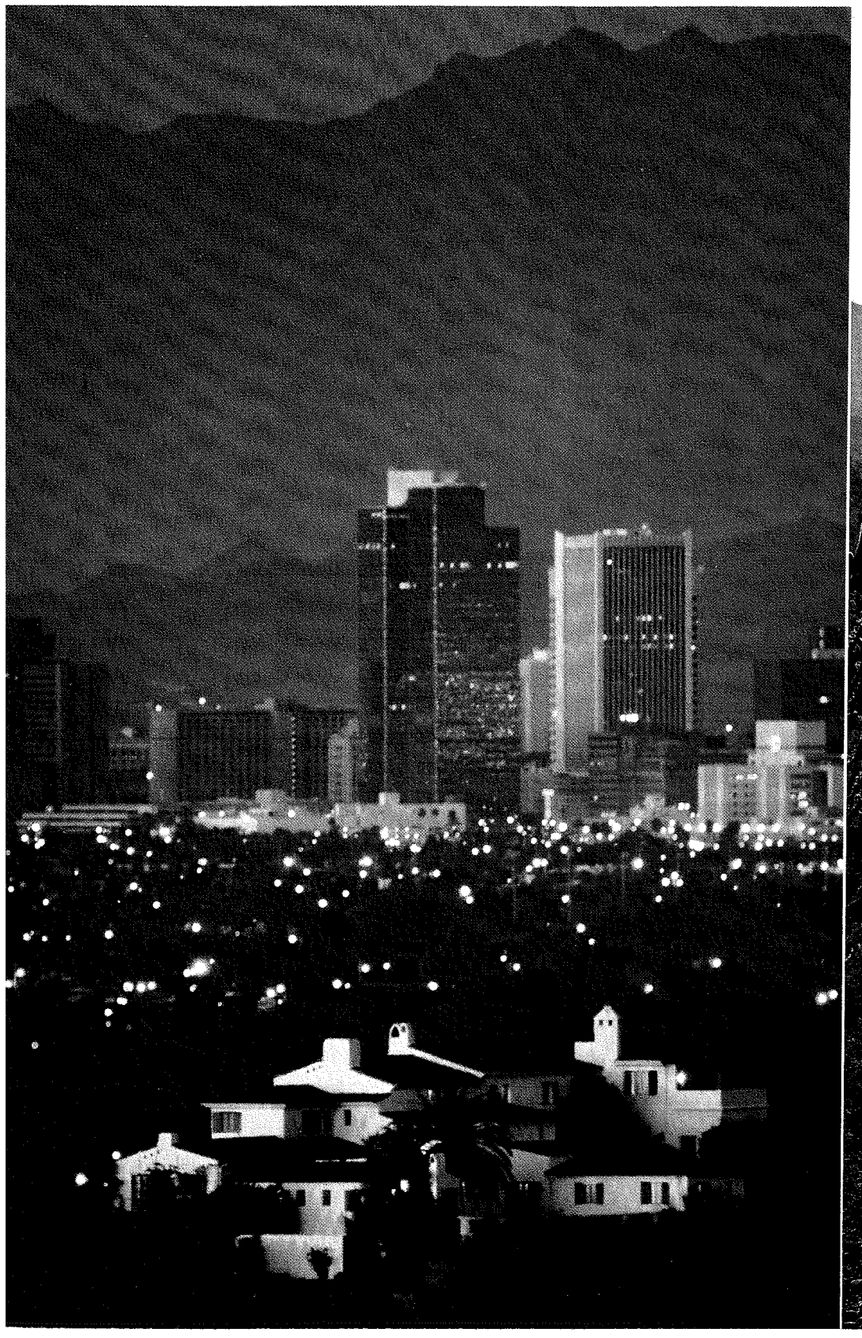








デザート・カントリー…陽光あふれる砂漠が広がるメキシコ国境地帯。古代インディアンたちの夢の跡、スペイン文化の名残りをとどめる風物、失なわれた金鉱などと共存する現代的な西部のライフ・スタイル。ますます発展し、人気を呼んでいます。

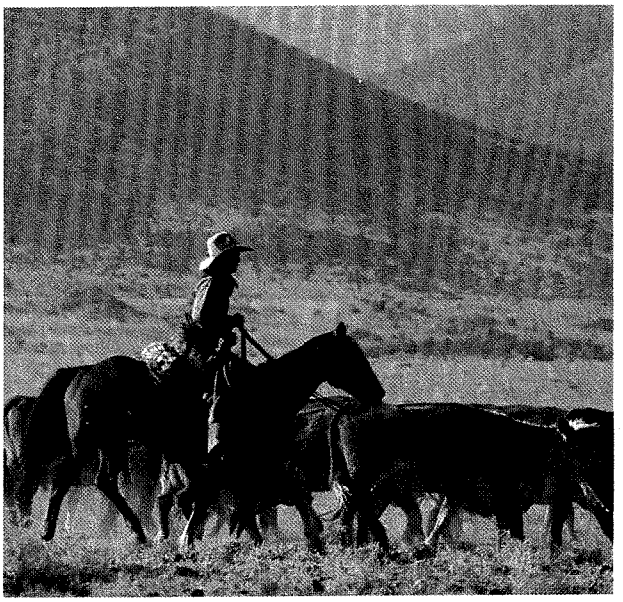


太陽がはるかかなたの地平線に出没するここアリゾナ国境の砂漠地帯は、かつてはアメリカ大陸の広大な荒野の一部でした。しかしながら、今日では、往時の辺境開拓者たちの夢と憧れをはるかにしのぐ希望にみちた新天地となっています。以前はロードランナー(みちばしり/ホトトギス科の鳥)やジャックラビット(野兎)が、人間の数を上回った地域ですが、現在は、昔の西部と新しい西部の特色が融け合い、すばらしい風土を形成しています。スペイン、メキシコ、インディアンの各文化がアメリカ的な生活様式に影響を与え、いっそう魅力を加えて、アリゾナならではのユニークな個性を生み出しています。

レクリエーションを楽しめる近くの湖の水を利用して灌漑に成功したため、この乾燥した不毛の地に花咲くオアシスが開発されました。椰子やオリーブの緑風が、家並みや街路を優雅に包み、かんきつ類やナツメヤシの植樹により、いちだんとうるおいのある生活環境となりました。失なわれた金鉱、露天掘りの銅山、さらに数多くの史跡は、この地方の風物詩に欠かせぬ題材です。満ちあふれる陽光のなかで、テニス、ゴルフ、乗馬、水泳などのスポーツをはじめ、多彩な野外活動を一年中存分にエンジョイできる魅惑の新天地と申せましょう。

▼写真：左…フェニックスのスカイライン（ジョン・ティール）／右…サグアロ国定記念地（ディック・ディートリック）／はめこみ…サン・ザビエル・デル・バック伝道館（ディック・ディートリック）。

西部劇の背景とムードが、そっくりそのまま息づいている アメリカ——それは、魅惑の別天地アリゾナです。



▲写真：上…カウボーイ（ジェフ・キダ）／中…リゾート・ホテルのプール（アラン・ベンワー）／下…マリアッチ・バンド（ウィリアム・ジェンセン）。

ぜひ、おいでになり、そのユニークな魅力のすべてをご満喫ください！

アリゾナがカウボーイとインディアンの国であったのは、そう遠い過去のことではありません。埃にまみれた長途の牛追いの旅や、すさまじい銃撃戦とかもずっと昔の物語ではありません。もちろん、今日では、はるかにのんびりとした平和なところになっていますが、往時の興奮は今でも生き続けており、すばらしい見どころや楽しみは無尽蔵といってもよいくらいにあります。

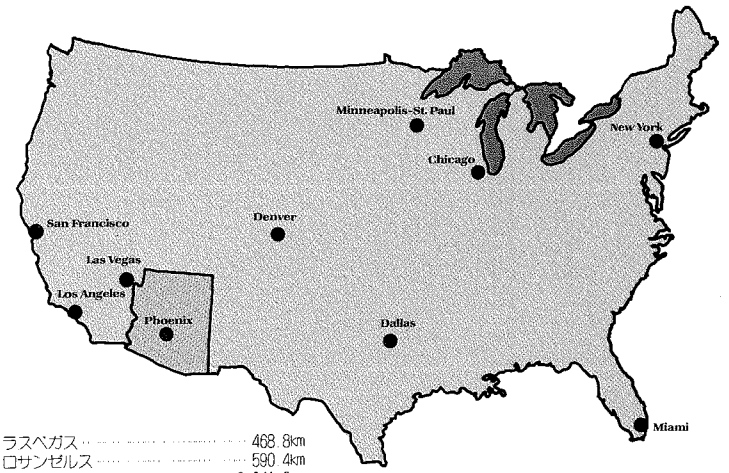
州全土に散在するインディアン部落を訪ね、彼等の生きざまに接したり、美しい民芸品を買ったり、また多彩な儀式を見物するのもよいでしょう。また、巨大なサボテンの林立する荒野を旅したり、落日とともに茜色に染まりゆく夕空を眺めたり、さらにゴースト・タウンや、インディアンたちと戦った兵どもの夢の跡ともいうべきかつての砦を歴訪したり、旧西部の通りを散歩したり、数多くあるアリゾナの金鉱や銅鉱の一つに足を伸ばすこともできます。

食事どきともなれば、名物の“カウボーイ・ステーキ”が待っています。このステーキは、皿からはみ出るほど大きく、思わずびっくり仰天します。それとも、アリゾナの伝統的メニューの一つで、これまたおいしいメキシコ料理はいかがでしょう。そのほか、アリゾナは食通好みの美味珍味のバラエティにも富んでおり、りっぱなレストランが数多く揃っています。日中の行楽が終ったら、ホテルに戻って、プールでひと泳ぎしたり、お部屋でゆっくり寛げます。宿泊施設には、エコノミー・クラスのものから、非常にエレガントなものまで、各種用意されています。

アリゾナの魅力の一つは、陽光に恵まれていることです。おそらく、当地ほど太陽がいっぱいの土地はまれでしょう。一年中、温暖な好天続きなので、連日、バカンスを楽しめます。

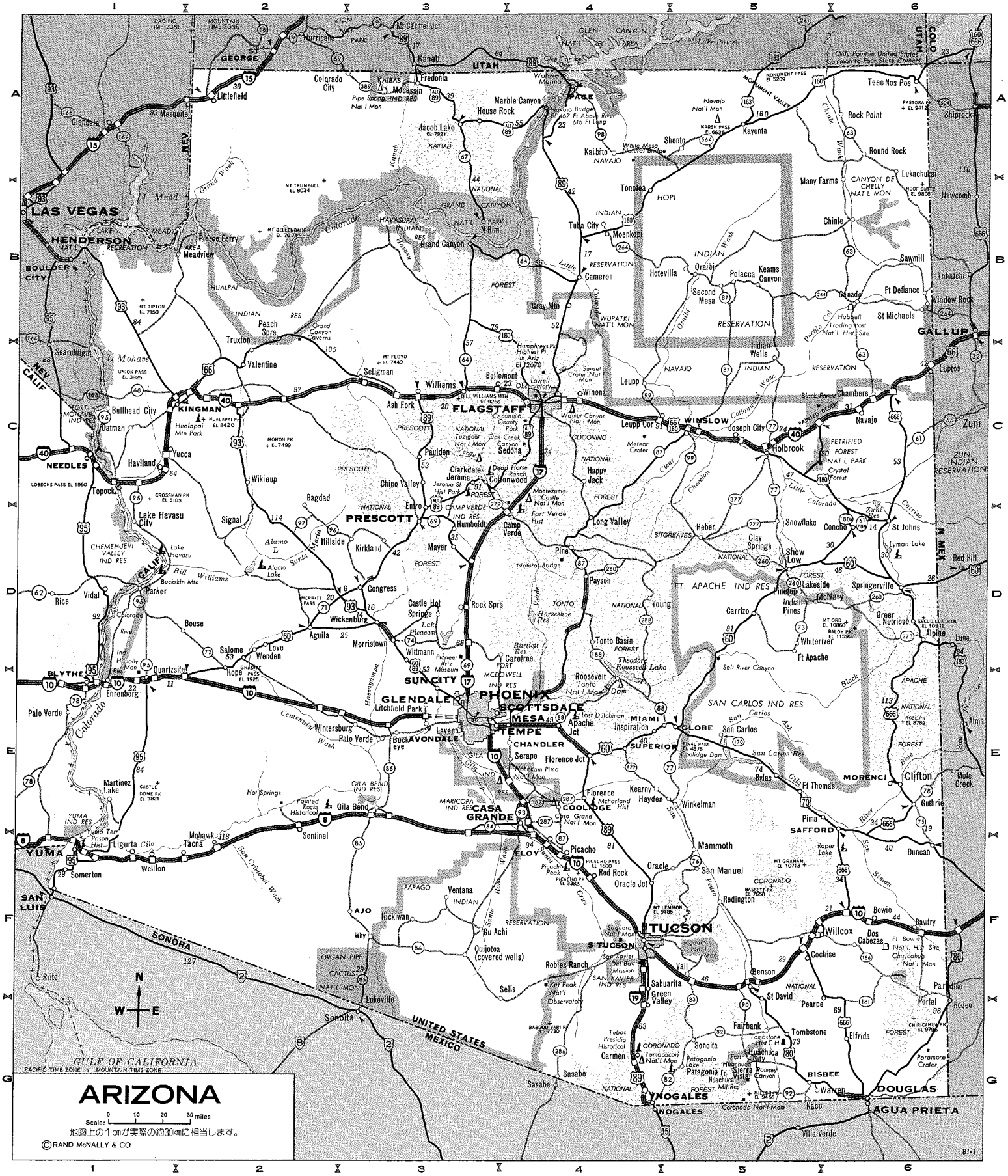
しかも、見どころと楽しみは、まだまだ無限です。というのも、ここアリゾナには何でも揃っているからです。史跡を観光したり、リゾートで思いっきり遊んだり、博物館で歴史を学んだり、最も今日的なエンタテインメントを楽しんだり、およそ、レジャーにこと欠きません。

過去のアメリカを知り、現在のアメリカのすばらしさを満喫できる理想的な別天地——それが、ほかならぬアリゾナです。



ラスベガス	468.8km	シカゴ	2,304.0km
ロサンゼルス	590.4km	ニューヨーク	3,444.8km
ミネアポリス／セントポール	2,041.6km	サンフランシスコ	1,259.2km
マイアミ	3,156.8km		
ダラス	1,396.8km		
デンバー	944.0km		

▲アメリカのどこに行かれる場合でも、アリゾナから出向くのにあまりにも遠すぎるようなところはありません。（上記は、アリゾナ州フェニックスから各主要都市までの空路距離です。）



アリゾナ
人口：1,775,399
(1970年国勢調査)
首都：フェニックス
面積：295,024㎢

都市

Aguila	D-2	Bagdad	C-2	Douglas	G-6	Gu Achi	F-3	Lakeside	D-5	Oracle	F-5	St. David	G-5	Sun City	E-3
Ajo	F-3	Bisbee	G-5	Duncan	F-6	Happy Jack	C-4	Litchfield Park	E-3	Page	A-4	St. Johns	D-6	Superior	E-4
Apache Jct	E-4	Buckeye	E-3	Ehrenberg	E-1	Hayden	E-5	McNary	D-5	Patagonia	G-5	Salome	D-2	Tempe	E-3
Ash Fork	C-3	Camp Verde	D-4	Eloy	F-4	Heber	D-5	Mayer	D-3	Payson	D-4	San Carlos	E-5	Tombstone	G-5
Avondale	E-3	Casa Grande	E-4	Florence	E-4	Holbrook	C-5	Mesa	E-4	Peach Springs	B-2	Scottsdale	E-3	Tuba City	B-4
		Chandler	E-4	Ft. DeFiance	B-6	Huachuca City	G-5	Miami	E-5	Phoenix	E-3	Sedona	C-4	Tucson	F-4
		Chino Valley	C-3	Ft. Thomas	E-5	Humbolt	D-3	Mocassin	A-3	Picacho	F-4	Seligman	C-3	Wellton	F-1
		Clarkdale	C-3	Fredonia	A-3	Jerome	C-3	Moenkopi	B-4	Pima	E-5	Sells	G-4	Whiteriver	D-5
		Clay Springs	D-5	Glendale	E-3	Joseph City	C-5	Morenci	E-6	Pinetop	D-5	Show Low	D-5	Willcox	F-5
		Clifton	E-6	Globe	E-5	Kayenta	A-5	Morristown	D-3	Polacca	B-5	Snowflake	D-5	Williams	C-3
		Colorado City	A-2	Grand Canyon	B-3	Kearny	E-4	Naco	G-5	Prescott	D-3	Somerton	F-1	Window Rock	B-6
		Coolidge	E-4	Green Valley	G-4	Keams Canyon	B-5	Nogales	G-4	Quartzsite	E-1	S. Tucson	F-4	Winslow	C-5
		Cottonwood	C-3			Kingman	C-1	Nutrioso	D-6	Safford	E-6	Springerville	D-6	Yuma	F-1

アリゾナ州観光局： 3507 N. Central Ave. • Phoenix, AZ 85012 USA